

ご挨拶

日本バルカー工業株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

瀧澤 利一



読者の皆さまには日頃から本誌をご愛読頂き、厚く御礼申し上げます。さて、皆さまに支えられ当社は本年をもちまして創業90周年を迎えることができました。今後も、これまでの歴史のなかで培ってきたシールエンジニアリングを更に発展させ、革新的な技術創造による新たな価値提供に果敢にチャレンジし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。この90周年を記念して、今号ではこのような当社の技術に対する取り組みを、読者の皆さまにより良くご理解いただけるための企画も盛り込んでおりますので、是非お楽しみいただきたいと思います。

昨年は英国のEU離脱、米国大統領選挙といった世界政治における大きな動きや、石油や天然ガスなどに代表される資源価格にも大きな変動がありました。その影響により、為替相場や各市場での株価は非常にダイナミックな動きを示し、ビジネス環境に対する先への見通しを立てることが難しい年でした。このような世界情勢の中、日本市場においては半導体製造装置産業を中心とした好調な産業に支えられ、年末にかけて緩やかな市場環境の回復があった反面、燃費不正問題、福岡道路陥没事故に見られるように、企業の社会的責任やリスクマネジメントの重要性が改めて浮き彫りになりました。また、その一方で自動運転技術、幅広い産業におけるAIの導入など、未来に向けた技術の進歩が加速した年でもありました。

こうした事業環境下、バルカーグループは第7次中期経営計画「New Valqua Stage Seven (NV・S7)」にて、多様化するグローバルリスクへのマネジメント強化を掲げて事業体制の整備を進めております。そして、その中においてシールエンジニアリングを基軸とした技術開発の推進を経営課題として捉え、H&S^{*}企業への脱皮に向けたストーリーの中で、H&Sの両輪となる製品とサービスについて、グローバル市場での新たな価値創造を目指した活動の強化を進めております。

このような、価値創造を目指した具体的な取り組みとして、シールエンジニアリングによって実現される「安全・安心」を、製品と共にサービスとして提供するトレーニングの場を世界の市場にて展開しており、多数のお客さまのご好評をいただいております。今号のテクノロジーニュースでは、このような顧客視点に立ったソリューションを提供させていただいている事例として、幅広い分野でのトラブル・お困りごとに対する解決事例を紹介させていただく内容で構成してお届けすることといたしました。

90周年を無事迎えることが出来たのも、お客さま各位のお引き立てがあればこそと心より御礼申し上げます。今後とも一層のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまの益々のご発展を祈念いたします。

※「H&S」とは、H(ハード=製品)とS(シールエンジニアリング・サービス)を通じて顧客価値の最大化を図ることを指します。